

麦の穂便り

2019年11月号

発行人 社会福祉法人 健翔会
 所在地 埼玉県行田市小見 1141-1
 TEL 048-554-8815 FAX 048-554-8814
 MAIL muginoho@kenshokai.net
 発行責任者 麦の穂 管理者 前田博和

「麦の穂」は障害者総合支援法により障害者に対し生活介護サービスを提供する事業所です。

麦の穂はクリスマス会に向けてまっしぐらです。

「角度を変える」

麦の穂 管理者 前田 博和

11月も中旬を迎えそろそろ冬の足音が聞こえてくる季節になりました。健翔会では例年10月から11月にかけて、健翔会の近隣で行われているイベントに参加しています。今年度は10/19の行田市ふれあい福祉健康祭から始まり11/16の騎西特別支援学校文化祭(きよう祭)まで毎週土曜日にイベントに参加していました。

健翔会の3事業所(麦の穂、大地、にじいろ)がそれぞれ参加するので、普段なかなか顔を合わせることが少ない、大地のご利用者やにじいろの児童などと一緒に過ごします。ふれあい福祉健康祭りににじいろの職員が昼食のお弁当を受け取りに行くため、10分程度にじいろの児童を大地の細川サービス管理責任者が支援する場面がありました。最初の数分こそ笑顔で座って遊んでいましたが、次第に動き回りにじいろの職員を探し始めました。細川サビ管は「もうちょっとで戻ってくるからね。少しの間待ってようね。」と声を掛けていました。声を掛け続けていたので、私も次第に落ち着いてくれるかなと思っていたのですが、表情は見る見る不安そうになっていきます。その時細川サビ管が「あっ。待ってって言葉が苦手なんだよね。よし、何して遊ぼうか?」と声の掛け方を変え、肩車をして健翔会のブースから出ていきました。肩車をされた児童にはすぐに笑顔が戻り、お弁当が届くまでとても楽しそうに過ごしていました。

声の掛け方や支援の方法を少し角度を変えて行くと、大きな効果を生むことがあります。以前の巻頭言でも紹介したリフレーミングという手法に似ています。リフレーミングとは短所を長所に言い換える手法です。今回の細川サビ管の声掛けも「待つ」→「他のことをして遊ぼう」に変えた途端、児童から笑顔があふれ楽しそうに過ごせました。

麦の穂には24名のご利用者がいます。24名のご利用者のそれぞれの性格、特性、こだわりなど様々です。24名が集団で生活するので当然、特性やこだわり同士がぶつかってしまうこともあります。そんな時こそ職員が冷静に声の掛け方や支援の方法の角度を変えることで、ぶつかりそうになってしまう特性やこだわりを回避することが出来ます。真正面からご利用者を受け止め、いろいろな角度から支援できる麦の穂であり続けたいと思っています。

スタッフブログがFacebookに変わりました ⇒ <https://www.facebook.com/kenshokainet>
 たくさん「いいね!」してくださいね!!



クリスマス会の練習が始まりました。今年のクリスマス会も笑いあり、笑いあり、笑いありの劇を披露する予定です。練習に練習を重ねていますので、皆様ご期待ください。

第8回健翔会合同運動会!!



11/4に第8回健翔会合同運動会を開催しました。今年度からにじいろも参加し、総勢131名になりました。①←準備体操のエキシビションの様子を前方から撮影しました。圧巻の人数です。

②←ご家族と一緒に競技に参加します。今回は大玉を5人1組で運ぶ競技です。③→今回もたくさんのご家族が観覧に来てくれました。応援旗を勢いよく振って大きな声で声援をおくってくれた麦の穂大応援団です。④→先月号でお伝えした二人三脚の練習の成果が出て、この種目では見事1位を獲得出来ました。全体では初参加のにじいろが優勝しました。来年は優勝を奪還できるよう一致団結頑張りましょう。



麦の穂の利用者と職員による寄稿文を掲載します。 第128回の寄稿文

今回は職員の愛久澤秀行さんからの寄稿文です。



昨年のクリスマス会はマツケン、今年のクリスマス会はこの場面が出てくるでしょうか？今年もばっちり準備している愛久澤さんです。

こんにちは麦の穂の愛久澤です。今回は重度訪問介護サービスについて取り上げたいと思います。2019年7月の参院選で2人の重度障害者の方が国会議員となり、国の「重度訪問介護」が就労中に受けられない問題が注目されています。「重度訪問介護」は障害者総合支援法に基づくサービスですが、重度の障害がある人が仕事をしている間は「経済活動」と見なされ、サービスが利用出来ません。

さいたま市に住む猪瀬智美さんは、進行性の難病に罹患している重度障害者で、24時間訪問介護を受けないと生活することが出来ません。念願だった一人暮らしと、就職も決まり在宅での仕事に就けることになったのですが、就労時間中に重度訪問介護サービスを受けられないため、命をかけた選択を強いられることになってしまいました。仕事に容体が急変した場合はどうしたらいいのか、水分補給もトイレに行くことも出来なくなってしまうからです。悩んだ末、働くことを選択しましたが、仕事に体調を崩し知り合いに助けに来てもらったこともありました。さいたま市は当事者から相談を受け、その実態を踏まえ全国初の在宅就労の重度障害者に独自支援をする方針を2018年に決定し、今年度から在宅勤務支援として導入を開始しています。猪瀬さんも現在この支援を利用して、不安なく働くことが出来るようになりました。

国は障害者の社会参加や雇用促進に力を入れていますが、こうした制度の狭間で、問題が生じていることも事実としてあります。全国初の独自の取り組みを行った、さいたま市を先駆けとして、国に規制緩和や見直しを要望している全国の自治体も声を上げているようです。この問題で今後の障害福祉サービスの在り方や、動向に大きな影響となりそうです。

過去の麦の穂通信をご覧になりたい方はこちらへ

<https://www.kenshokai.net>

健翔会ホームページから「麦の穂通信」をクリック

秋のイベント特集！！



①←10/26に行田特別支援学校文化祭「スマイル祭り」に参加しました。行田特別支援学校卒業の山田能毅（よしき）先輩は旧友との再会を楽しみながら、販売も頑張ってくれました。②←10/28に「十三夜焼きまんじゅうづくり」を行いました。十五夜では団子を、十三夜では焼きまんじゅうを月に見立てておいしく食べました。11/9に行田市スポーツレクリエーション大会に参加しました。③→麦の穂は2チーム参加しました。麦の穂ではおなじみの風船バレーでしたが、残念ながら負けてしまいました。④→鈴木さんはフリスビーストラックアウトで9枚的的を全部命中出来ました。



麦の穂でほしいもの

リサイクル班より…ペットボトル、アルミ缶回収行っています！！ご協力お願いいたします。その他にも…臼と杵、香水(ボアリ香り付け)、洗濯洗剤がありましたら、よろしくお願いいたします。

御礼の部屋 いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

- おやつ 坂井様、大須田様、川田様、生澤様、江森様、木暮様●みかん 神山様●柿 関口様●洗剤 大須田様
- リサイクル品 皆様いつもありがとうございます。

12月のスケジュール！

- 11/27 (水) 感染症対策講習会
- 12/11 (水) イオンイエローシートキャンペーン
- 12/13 (金) レクリエーション クリスマススウィーツづくり
- 12/20 (金) 健翔会クリスマス会
- 12/25 (水) 大掃除
- 12/26 (木) 餅つき
- 12/27 (金) 納会

ミニクリスマスツリーを作りました



レクリエーションとしてミニクリスマスツリーづくりを行いました。松ぼっくりをツリーに見立ててピンクや白のボールでデコレーションしました。皆さん笑顔で持ち帰りました。